



国営木曽三川公園 フラワーパーク江南

株式会社ブレック研究所 安河内泰男・松崎 淳・長谷川均

□大河川景観と呼応した雄大なランドスケープ

本公園は、木曽川の流れたに沿った細長い敷地である。隣接する堤防の上に姿を現した伊吹山地を借景に、「空」「緑」「花」で構成されるダイナミックなランドスケープを展開した。

敷地の造成も大らかな木曽川の流れたと呼応する、緩やかなアンジュレーションとし、公園の中央には奥行き感のある草原を配置することで、どこまでも続く大河のように雄大な景を創出した。

□空・雨・川へとつながる水の流れのランドスケープ

エントランス空間には、大きな円形の水盤を設けた。

この水盤は、空を映す鏡の役割を担う。来園者は、天空と地上の境に広がる、花と緑に溢れた風景で出迎えられる。

この水盤の周囲からは、断続的にミストが発生する。それは天空に浮遊する雲のように、水盤上に景を落とす。空に雨を呼ぶ雲が広がり、やがてそれらは水盤を源とした流れとなり小川となって、来園者を草原の中へと導いていく。

□市民協働の花壇を中核とするランドスケープ

市民花壇のエリアを起点として、メイン花壇～水の庭～果実の庭～香りの庭～ボーダー花壇～風の庭と、「暮らしと花」をテーマとした花壇を、中央の草原を



水盤池
天空と地上の境に広がる花と緑の景を映し込む



メイン花壇と水盤池 市民協働による運営で、メイン花壇の彩りも季節で変化

作品概要

作品名：国営木曾三川公園（江南花卉園芸公園）
 所在地：愛知県江南市小机町一色
 発注：国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所
 設計：株式会社ブレック研究所
 施工：日産緑化株式会社，林本建設株式会社，大興建設株式会社，株式会社理研グリーン，アイシン開発株式会社，名稲建設株式会社，大島造園土木株式会社，株式会社佐藤渡辺，株式会社造園サービス，株式会社岐阜造園，株式会社渡辺組，株式会社市川工務店，ヤハギ緑化株式会社
 設計期間：平成13年9月から平成14年3月及び平成17年1月から平成17年3月
 施工期間：平成15年度から平成23年度
 規模：公園全体約39 ha（基本設計：約39 ha 実施設計：約12 ha）
 主要施設：メイン花壇，市民花壇，水盤池，霧のデッキ，散策園地（水の庭，風の庭，ボーダー花壇，展望台等）

作品評

この作品は，市民協働を前提とした「暮らし提案型」のフラワーパークの造成である。基本計画時点で設定したコンセプトを貫き，基本設計時点で協働母体を抽出し，実施設計段階で具体化へ向けた意見調整を進めつつ実現した。花を効果的に見せるため，場を絞り込んで展開したことにより，芝面や水面とのメリハリのある景観を生み出すことに成功している。特に，中央に設けた水盤を始めとして，奥行き感が演出された芝生広場と流れなどの水景が効果的に取り入れられ，花の景が際立っている。

また，管理エリアや駐車場などのバックヤードを入口側に集約したことにより，堤防に挟まれた制約のある敷地形態が活かされた土地利用となっている点などが評価された。

回遊するように配置した。

来園者は，移り変わる花の風景を楽しみながら，自宅でのガーデニング意欲を一層かき立て，花の取り入れ方を想像しながら，歩を進める。

□花を主役とする演出と控えめなデザインによるランドスケープ

美しい花で彩られた雄大な風景を最大限に演出する

ため，建築物など立ち上がりのある施設，駐車場等は，エントランスエリアの背後となる東側に集約的に配置した。

また，木曾川と公園の両方向を見渡す展望台を堤防の高さに設け，優美な花壇景観と，攪乱で形成されたワイルドな河原の景観を対比する，ピクチャレスクなビューを実現した。



市民花壇



市民花壇と市民ハウス



霧のデッキ



風の庭



メイン花壇（建物は別途設計）